

会 議 録

会議の名称		第3回（仮称）研究学園小学校、研究学園中学校 開校準備委員会		
開催日時		令和4年2月2日（水） 開会 18：30 閉会 20：00		
開催場所		つくば市役所 4階 ミーティング室		
事務局（担当課）		教育局 学務課		
出席者	委員	稲川綾子、菅典子、橋本恭子、小泉悠、鈴木夕紀子 相澤健太郎、野尻敏弘、富岡暁子、槇幸子、石黒正美		
	事務局	教育施設課課長補佐大口勝也、教育施設課主事小池祐輝 学び推進課指導主事兼係長福澤誉子 学務課課長下田裕久、学務課課長補佐東泉学 学務課係長中山美希、学務課主任藤田智子 学務課主任工藤麻貴、学務課主事白土直也 学務課主事霜鳥壮彦		
公開・非公開の別		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	0人
非公開の場合はその理由				
議題		(1) 校名案の公募結果について (2) 校名案のアンケートに関する検討等について (3) 校章案の公募について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開 会 2 議 事 (1) 校名案の公募結果について (2) 校名案のアンケートに関する検討等について (3) 校章案の公募について 3 その他 4 閉 会			

<審議内容>

1 開会

2 議事

委員長：皆さんこんばんは。よろしくお願いします。では早速議事に入りたいと思っておりますけども、一応この委員会は傍聴も可能ということで、今日、傍聴者の方いらっしゃればと思っておりますけどもその辺はいかがでしょうか。

事務局：傍聴者はおりません。

委員長：了解しました。では進めていきたいと思えます。今日の議事に関しましては、この議事次第にもありますが、校名案の公募結果をご説明いただいて、その結果を見ながら、校名案のアンケートをですね、どうしていかを決定するというような場なのかなというふうに考えてございます。あと、校章案の公募の進め方みたいなところをですね、ある程度方向性を決めたいということで、今日資料の方を準備いただいておりますので、これから議論に入らせていただければと思っております。議事に入る前にですね、前回の委員会の時に質問があった学校の施設関係について、事務局から説明があるということなのでちょっとその辺をご説明お願いしてよろしいでしょうか。

事務局：教育施設課です。前回、前々回と（仮称）研究学園小学校、中学校の換気設備について説明をさせていただいたところですが、不足しているところがあったかなと思えますので、改めて今回補足の説明をさせていただければと思えます。まず、コロナ禍に学校で求められる換気について改めて整理してみましたので、配布した資料をご覧ください。文部科学省で出している「新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」になりますが、授業中は必ずしも窓は広く開ける必要はないとしつつ、こまめに30分に1回以上数分間程度窓を全開にし、2方向の窓を同時に開けて換

気を行いましょうということが、うたわれていました。次に、前回も提示させていただいたものになりますが、厚労省では新型コロナウイルスの感染症対策として、ビル管理法で示されている 1 人当たり 30 m³/h 以上の換気量が確保されていることが望ましいとうたっています。今回は、研究学園小学校、中学校の校舎が TX に隣接した配置となっているので、なかなか他の学校と同じように窓を開けての換気が難しくなると考えられます。そのような環境のなかで、コロナ禍で必要とされる十分な換気量を確保するために、今回、施設としてどのような対応をとったかを具体的にお示できればと思います。次のページをご覧くださいんですけども、機器を選定するに当たって、どのような基準をもとに、どのような計算をしたかを示したものになります。基準についてですが、学校環境衛生基準、それから先ほどもありましたビル管理法での基準、それから建築物環境衛生基準というものを参考に検討しました。厚労省では、1 人当たり必要換気量がビル管理法に基づく 30 m³/h 以上が望ましいと示していますが、ここで採用した建築物環境衛生基準は、より厳しい基準となっていて、この基準では、1 人当たり 33.84 m³/h 以上を必要換気量としています。今回は、この基準を採用して、それに基づいた計算結果をもとに機械換気設備を選定したところです。建築物環境衛生基準に基づいた必要換気量が、普通教室 1 室当たり 1,018.24 m³/h。それに対して、今回導入する換気設備は 520 m³/h 分の換気を行える容量のものを 2 台入れておりますので、普通教室 1 室当たり 1,040.00 m³/h。細かい計算については、資料をご覧くださいければと思いますが、計算上、窓を閉め切った状態でも、十分な換気を行えるような換気設備を導入して対応しております。

委員長：丁寧な説明ありがとうございました。ご質問等あれば、ご発言いただければと思いますけども、いかがでしょうか。

委員：私がよろしいですか。

委員長：はい。お願いします。

委員：まず事務局の方こちら非常に詳しく丁寧に説明いただいて、大変参考になりました。ありがとうございます。具体的に数値の方でも、一番厳しい基準を、窓を締めた状態で満たすということで、もう換気の方はもう、非常によくやっていただけるとわかりましたので、換気についてはもう、個人的にはもう十分納得できました。以上です。ありがとうございました。

事務局：ありがとうございます。

委員長：他の委員の皆様、何かありますでしょうか。はい。お願いします。

副委員長：換気の話は全然問題ないと思っているんですが、コロナ対策の基本的な習慣として、換気は必要だよっていう教育は忘れないでいただきたいなと思います。特別な設備が入ってるから、ここは大丈夫なんだよ、でも普通はするんだよっていうところは習慣としてちゃんと教えていただければと思います。

事務局：はい。おっしゃる通りだと思います。これから先生方、実際に赴任される先生方が決まってくるかと思うので、教育施設課としても、その辺の認識を学校と共有しながら、よりよい教育環境を作っていければなと思います。

委員長：ありがとうございます。他の皆様はいかがでしょう。もしあれでしたら、挙手ボタンとかもしていただきながら、手挙げていただければ、誘導するようにしますので、お願いします。大丈夫そうですかね。施設関係はこれで終わりたいと思いますので、他何か事務局で説明しておくことがありますでしょうか。

事務局：事務局です。私の方から、会議録と開校準備委員会だよりについて、委員の個人名の公開の部分について説明させていただきたいと思います。まず、会議録についてですが、第1回目の委員会でお配りした資料の3－2につくば市附属機関の会議及び懇談会等の公開に関する条例施行規則の

第9条の部分ですね。こちらに基づきまして、ホームページで公開をさせていただきますが、第8条第1項の部分に、附属機関の会議又は懇談会等に出席したものの氏名について、会議録に記載する事項として挙げられていますため、会議録の出席者の欄には、委員の方のお名前を掲載させていただきます。ただし、発言の内容については、個人名が特定できないようにいたします。こちらについて、何かご意見ございますでしょうか。特にないようですので、続きまして、開校準備委員会だよりについてですが、こちら作成したものを確認していただいたところ、委員の皆様のご紹介の欄にて、個人名の公開を望まれない方が多数いらっしゃいましたので、この部分については、委員の構成ということで、例えば保護者10名、教職員4名という紹介に改めさせていただきたいと思っております。こちらについては、後程、修正したおたよりをメールで送りますので、また確認していただきまして、問題ないようでしたら、公開したいと思っています。このおたよりの公開範囲についてですが、現在考えていますのは、市のホームページと、あと学校のホームページでの公開になりますが、委員の方の個人名を非公開にした場合に、その他に掲載したい場所について、何かご意見ございますでしょうか。ご希望の場所などありますか。特にご意見がないようですので、市のホームページと、学校のホームページの方に掲載ということで進めさせていただきます。それでは、委員長お願いします。

委員長：はい。説明は以上でよろしいですか。わかりました。議事に入らせていただきます。議事の1つ目はですね、校名案の公募の結果ということで、短時間で公募の作業を取りまとめいただきまして、本当に事務局の皆様ありがとうございました。結果の方資料2ですかね、整理いただいておりますので、まず結果の方の内容の簡単なお説明をしていただければと思いますので、事務局の方々、説明をお願いできればと思います。

事務局：右上に資料2と書かれているものが、公募の結果をまとめたもので

す。資料2の冒頭が、公募結果を1枚にまとめたものになります。今回、学園の森に在籍している児童生徒及び保護者、今年4月に入学される児童及び保護者、それ以外のつくば市在住者の方に応募をいただきました。結果として、トータルで451件の応募をいただいた形となります。その内の大部分は、学園の森に現在通われている児童生徒さんから集まったものになります。小学校と中学校の校名について、一緒のものを書いた方、また別々のものを書いた方については、統一というところが同じ学校名を書いた方の割合、相違と書いてあるところが、別々の小学校名、中学校名を書かれた方の割合になっています。全体としては7割弱の方が、同じ学校名を想定しているということがわかりました。それぞれ詳細な内訳につきましては、別紙1から別紙5にまとめさせていただいております。別紙1－1は、小学校の校名案について、学園の森の児童生徒からの応募結果になります。別紙1－2については、同じく中学校の校名案に関して児童生徒から応募いただいた内容になります。続いて、別紙2は、現在通われてる児童生徒の保護者の方からいただいた小学校及び中学校の校名案の応募結果になります。別紙3につきましては、今年4月に学園の森へ入学される児童、またその保護者の方から寄せられた応募の内容になっております。別紙4－1と4－2につきましては、それ以外のつくば市在住の方から、電子申請で応募いただいた結果になっております。別紙5－1が小学校の校名案に関する応募結果、別紙5－2が、中学校の校名案に関する応募結果をすべてまとめたものとなっています。研究学園が一番多く集まっていますけれども、それ以外も複数の応募をいただいた校名もありますので、この後、委員会の中で、アンケートを行うに当たっての校名案の絞り込みについて議論いただきたいと思います。簡単ではございますが、資料2、校名案の公募結果のご説明になります。お願いいたします。

委員長：ご説明ありがとうございました。まず公募の結果について、何か委員

の皆様から質問とかあればお願いしたいと思いますけども、いかがでしょうか。特になさそうですかね。公募結果の説明はとりあえず、それだと思いますので、引き続き、議題の2ですかね。校名案のアンケートに関する検討ということで、まず、スケジュールの説明ですかね、これを知ってもらった上で、アンケートをどのように進めていくか。また、資料3以降も作っていただいておりますので、その辺を簡単に事務局から説明いただいでよろしいでしょうか。

事務局：はい。右上に資料1と書かれているものは、校名案と校章案の選定スケジュールを案としてお示しさせていただいております。本日、第3回の委員会ということで、公募結果を受けまして、校名案の候補の絞り込みを行っていただきます。また、この後、校名案のアンケートが控えておりますので、アンケートに関する調整を行っていただきたいと思っております。その後のスケジュールのところ日程ですが、仮で入れておりますけれども、今後の進捗によって、臨機応変に変えていきたいと思いますので、よろしく願いいたします。校名案が決定しましたら、その後は校章案の選定の方に移っていくという流れでございます。資料1の方のスケジュールのところは以上になります。続きまして、資料3から6ですが、こちらは、校名案のアンケートの内容になります。本日の委員会のなかで、アンケートの応募対象、応募期間、応募方法について協議いただきますが、資料3以降については、校名案の公募と同様に、現在学森に通っている児童生徒と保護者、今年4月入学される児童と保護者、そして、それ以外のつくば市在住の方を対象とすることを想定して、資料を作成しております。資料3は、現在学園の森に通われている保護者さん宛のアンケートの実施のご案内になります。回答期間のところは、資料1のスケジュールの通り、今週4日金曜日から、来週の8日火曜日を想定して作らせていただいております。また、回答方法は、まん延防止等重点措置下にあつて、学校が臨時

休校となっておりますので、児童生徒も保護者も、どちらも電子申請により回答いただく想定であります。こちらの案内文書は、学校からスクリーンや緊急メール、学校のホームページを活用して周知を図っていきたいと考えております。続いて、資料4になります。こちらは、今年4月に入学される児童と保護者宛のアンケートの実施のご案内になります。こちらは郵送で、ご自宅にお送りをして、裏面の方のチラシの方をご覧ください、QRコードを読み取っていただいて、保護者の方に回答いただくことを想定して作らせていただいております。最後に、資料5と6につきましては、回答対象を、一般のつくば市在住の方まで広げた場合のことを想定して作らせていただいております。資料5は、つくば市のホームページでお知らせする内容、資料6につきましては、広く周知をするために、つくば市の公式 SNS、フェイスブック、ツイッターの方を活用して周知を図りたいと考えています。以上、資料の説明となります。

委員長：ありがとうございます。それでは、議論に入っていければと思っておりますけども、アンケートの中身、いわゆる学校名の候補を何案にするのかどうか、その辺の議論の前にですね、まず、回答の対象とか期間をどのようにしていくかといったところを議論させていただければと思っております。まず、回答の対象ですが、前回の校名案の公募と同じにするのかどうかですとか、また回答の期間ですね、前回もかなり、後ろのスケジュールが決まっているというところから、かなり短い期間にはなっていますが、それでいいのかどうか。あと、今回の休校ということで、子供に紙を渡して回答してもらうのが本当は一番良いと思いますけども、それが現実として厳しいということで、このアンケートをネットでやるということになりますけども、それについて、皆様のご意見ですとか、ご質問があればと思いますけども、何かあれば、委員の方々、ご質問等いただければと思います。押しボタンとかしていただければ、お名前を示したいと思っておりますので

よろしくお願いします。お願いします。

委員：はい。すいません。休校中ということで、子供たち、あと保護者の皆さんに知らせる方法ですが、こういうアンケートを実施するという内容を緊急メールで発信して、ご家庭に連絡して、あと、この文章をスクリレとホームページに掲載するというような方法が考えられますが、いかがでしょうか。

委員長：はい。ありがとうございます。学校もいろいろ協力いただいて非常にありがたく思っております。ほか皆様も何かありますでしょうか。はい、お願いします。

副委員長：はい。今皆さんオンラインで授業をしていると思うんですけど、朝の会とか、帰りの会とかそういう時間に先生からアナウンスしていただくとかそういうことは可能ですか。

委員：はい。それも可能です。

副委員長：ありがとうございます。せっかくみんながインターネットに繋がってる端末に子供が繋がっているんで、そこからもできるよみたいなことをすると、そんなに危険じゃないインターネットの体験が低学年にもできていいかなと私は思います。

委員：それを担任の先生によってね、どう伝えるかがあれですけど。はい。そういう方法は可能でございます。はい。

委員長：はい。可能な範囲で学校側もいろいろ説明いただければと思いますので、よろしくお願いします。他何か質問意見ございますでしょうか。はい。お願いします。

委員：確認なんですけれども、やはり、QRコードをこれを読み取って、それで、アンケートに参加する、この方法しか今のところ、選択肢がないようなアンケートになってるということなんですかね。ちょっとQRコードを読み取るためのアプリを入れたくない人とか、直接何かメールが来てそこにリン

クしてアンケートに答えるとかいうのに比べると、ちょっとハードルが上がるように感じる人もいるのではないかなと思ったんですけども。まず、QR コードのみなのかっていうところ、ちょっと私の理解ができてないのかもしれないんですけど、ちょっと確認させてください。お願いします。

委員長：緊急メールを送るというようなお話もあったかと思いますがそこに URL を貼るとかっていうのはあるかと思います。その辺事務局の方はいかが対応できそうでしょうか。

事務局：緊急メールの方に URL を直貼りするですとか、あとこの資料3の方のところに URL を記載して、リンクに飛べるようにして、そこをクリックすれば、すぐに電子申請のサイトに飛ぶような形も想定しておりますので、QR コードだけでなく、URL から電子申請のページに飛ぶというところも想定しております。

委員：わかりました。ありがとうございます。大丈夫です。

委員長：はい。ありがとうございます。他何か、意見質問ありますでしょうか。

委員：ちょっと私の理解が足りないかもしれないんですけど、このアンケートに答えるときは、選択肢で答えるのか、書いて答えるのかってのがちょっと気になったんですけど、もし、書いて答えるって言ったときに、どういうふうに、票数が割れたりっていうことも考えられるので、と思ったんですがこの回答の形式についてちょっと知りたいなと思いました。

事務局：この後、委員の皆さんに、どの校名をアンケートにかけるか絞り込みを行っていただくと思うんですけども、この絞り込みを行っていただいた結果、それが5件なのか、10 件なのかはありますが、5件なり 10 件なりを羅列して、そのなかから選択してもらう形を想定しているので、記述式ではありません。

委員：理解しました。ありがとうございます。

委員長：はい。ありがとうございます。ちょっとアンケートの内容は、今委員

からお話があった部分は、次のところでもう少し詳細に議論させていただければと思います。そうしましたら、回答の対象、回答の期間、回答の方法について、他に何か質問あればと思いますけどもいかがでしょうか。よろしいですかね。そしたら方法論的なものは事務局から提案いただいた内容で進めていくということで決定したいと思いますので、よろしくお願いします。私の方から1点だけ、事務局の方に確認なんですけども、例えば資料3-4の注意事項のところにあります、一番下のアスタリスクで書いてるところの文章で、開校準備委員会は保護者代表とか、っていうところが記載があると思うんですけども、ここにPTA本部代表者っていうくくりがあるんですけども、たまたま私、今年のPTAと関わっているんですけど、PTAの本部役員から派遣して、この委員のメンバーが挙げてるっていうわけではないと思いますので、この表現は削除された方がいいのかなっていうのが1つ気になった点と、あとこの辺はどうするかっていうところもあるんですけども、保護者代表、学校教職員代表、プラスアルファ事務局として、市が関わって、この委員会を進めていますみたいな形にされた方が、今の記載ですと市が委員会の中に全然絡んでないみたいな見方もされる場合もありますので、書き方を少しご相談した方がいいのかなっていう部分で、他の委員からも意見があったので、今日お伝えさせていただいておりますけども、事務局の方いかがでしょうか。

事務局：ご意見ありがとうございます。まず、資料3のPTA本部代表者という記載は削除させていただいて、市の関与の部分は記載方法を検討させていただきます。

委員長：ありがとうございます。よろしくお願いします。早速ですけどもアンケートの具体的な内容、どういうふうにしていくかといったところの議論をさせていただければと思います。先ほど委員からお話がありました通り、公募で、例えば多いものを、例えば5案10案っていうものをピックアップ

ップさせていただいて、1つを選ぶのか、複数を選ぶのかですとか、あとそれ以外に自由で、また記入していただくかというようなところ、また小学校、中学校の校名案を別々に聞くのか。もしくは、小学校、中学校の名前を一緒にするって説明を設けてから、それぞれの学校を1つ選んでもらうとかやり方はたくさんあると思うんですけども、その辺委員の皆様からですね、どういったやり方がいいのかといったところを意見いただければと思いますけども、いかがでしょうか。どなたか意見あれば、ぜひお願いできればと思います。

副委員長：今回、たくさんの学校名が出ましたが、学園の森のときは、10個ぐらい出して丸をしてもらった感じでしょうか。前回の学園の森義務教育学校を決めるときは、事務局の方でもいいんですが。なので10個ぐらいに決めて、5つでもいいんですが、どれか丸をつけていただくという形はいかがでしょうか。

委員長：事務局の方、学園の森の時のやり方を簡単に改めて説明させていただいてよろしいですか。

事務局：学園の森の際は、委員会で10個に絞っていただいて、その中から1つ選んでいただくという形を取っておりました。

副委員長：はい。ありがとうございます。

委員長：そうですね。お願いします。

委員：前回は、この公募の中からいくつか選んで、かつ、先生方から案を出して、あとは、市もしくは教育委員会とかから案を出して、その中から、みんなで投票とか、そういう形ですか。先生方からも何か出されましたか。

委員長：その辺事務局、わかりますでしょうか。

事務局：学園の森については、児童生徒、保護者から公募で集まったものと、市の方からご提案させていただいたものを、委員会の中で協議いただいて、最終的に10個に絞っていただきました。教職員からは、挙げていただいた

ことはございません。

委員：市から出したっていうのは、公募とは全く別で考えたものを、そのあとから追加したようなイメージですか。

事務局：公募で上がってきたものに、さらに市で考えたものを追加して、それらを委員会で協議して全体で10個に絞り込みました。なお、市が提出したものをすべて採用したわけではありません。

委員：わかりました。私の個人的な今回のイメージで言うと、これだけの票数に差が出ていると、例えば公募で出たもので1つ、あとは先生から何か案を1つ、市や教育委員会から1つとか、少ないかもしれないんですけど、3つとかで選んでもいいんじゃないかなって思ったりしました。皆さんいかがでしょうか。

委員長：皆さん他何か意見あるでしょうか。お願いします。

委員：私は8、9、10そこら辺から、1つを選ぶっていうのが、あんまり多すぎても、小学生は混乱すると思うし、逆にこれだけたくさんの校名を挙げてもらったのに、5個くらいに絞り込むっていうのもちょっともったいないかなっていうあたりで、10個くらいっていうのをイメージしていました。公募が一応終わってしまったので、その公募が終わった現段階から、なんかプラスするっていうのは、私はちょっとなじまないように思っています。公募の中から、ある程度票数が多いものを選ばれることに加えて、あと、校長先生であったり、例えば、五十嵐市長であったりっていうのが、特別に聞いたっていう特別枠みたいな形で、公募の中から選定されるというのが、筋がいいのかなというふうには個人的には思っています。

委員長：はい。ありがとうございます。他皆さん意見ありますでしょうか。

副委員長：資料2の別紙5－1の全量の回答を見ると、何か上の4つ、5つ程度かなと思っています。なぜかというと10位までに仮に広げたとして、そうすると上から10個ってなるとなかよしぐらいまでだと思うんですけど、

全 451 件のうちの 6 票と 5 票と何が違うのっていう感じになってしまうと思うんですね。そうすると大きく差がつかない中、たくさん提示しても何か意味がないんじゃないかなっていう気がします。子供も選ぶのも大変でしょうしと思います。

委員長：はい。ありがとうございます。あと先生も意見ありましたらお願いします。

委員：個人的な意見ですが、10 個ぐらいが一番いいのかなと思っています。あとご意見で、学校の先生とか、私からもというところ、ありがたいんですが、応募したい教員は、一般枠で応募したかもしれないし、そこら辺は大丈夫です。この公募から選んでいただいて、全く問題はありません。

委員長：はい、ありがとうございました。そういう意味では前回は市役所の方から案を出したというようなお話がありましたけど、今回は、市役所側からこれはというような提案はなしというようなイメージでしょうか。それとも、これから案を出すようなイメージでしょうか。

事務局：公募を実施した以上、公募の中から選んでいただきたいと事務局は考えております。また、事務局の方で検討しまして、資料 2 の別紙 5－1、5－2 にありますとおり、かなり票数の方もばらつきがありますけれども、上位の 3 件から 5 件程度で、アンケートを行っていただくのがスムーズに進むのかなというところでございます。また 5－1、5－2 の第 3 番目ですかね、研究学園義務教育とありますけれども、こちらの方は、新設校は義務教育学校ではないので、ここは外してご検討いただいて、アンケートを実施するのが望ましいのと考えております。

委員長：はい。ありがとうございました。義務教育学校と回答してる方もいらっしゃるんで、アンケートをする際にはですね、それを外した理由といたしますか、こういう回答もいましたけども、そういうことではないっていうことだけ触れた上で、アンケートはした方がいいのかなというふうに個人

的に思った次第です。一応、今までのお話を聞いてると、市からですとか学校側から追加する方向性は特にない形になるので、他の公募も幅広くやったというような経緯もあると思うので、基本的には公募の中から選ぶ形がいいのかなと思っておりますけども、委員の皆さんもそれはそれでよろしいですかね。はい。お願いします。

委員：賛成です。それでいいと思います。

委員長：すいません。はい。わかりました。公募の中から選ぶというような形は合意がとれたので、それでいければと思いますけども、あとはそうですね。何案にするかというところが、悩ましいかなと思いますけれども、今までのお話聞いていると、5つか、3つは少し少ないのかなって部分ありますけども、5から10ぐらいかと思いますが、別紙の5－1とかの票数の集まり具合とかを見ながら、どこにするかっていったところをちょっとお話できればなと思ってはいるんですけども、例えば5にしてですね、7票のところの、途中のところで切るっていうのも、例えば7票のところの学園南とつくば中央は選んで、みらい、もみじを選ばないとかっていうのもなかなか決めづらいのかなあと思ったりはしていて、例えば7票までの、ちょっと中途半端ですけども、7案で聞くのか、っていうようなところもあるかなと思いますけども、その辺皆様どうでしょうか。何か意見があればと思いますけども、お願いできればと思います。はい。お願いします。

委員：この1回目公募の時点では、いろんな発想とか考えが出てきて、票数は確かに大事なんですけど、何だろう、うがった見方をすると、隣の子同士で同じの名前書いてあるかというようなこともあり得ると思うんですよ。なので、ある程度1票しかないようなやつの中からも、何かいいと思って、みんながはつとしたようなやつは、拾えたらなと思うんですけど。それを、誰がどうやって拾うかっていうのが難しいと思ってて、その中で、例えば、先ほど先生は遠慮されましたけども、先生が選ぶのであれば、い

いねってというような、そういった部分はあると思うんで、お願いしたいなというふうに私は思って先ほど申し上げた次第でした。

委員長：ありがとうございました。ちょっと時間はないので、多分この場である程度決めないといけないなっていうことがあるんですけども、おそらく今日、今ずらっと見た中で、1票2票でもというようなところでも、どうしても推したいなというようなものとかがですね、もし、委員の皆様とか、先生、市役所も含めてあれば、ちょっとご意見等いただければと思いますけども、いかがでしょうか。はい。お願いします。

委員：公募の件、公募のグループが5つですが、この5つのグループの、それぞれのその意向が反映できる形が良いと思います。その中で学園の森新入学児童の保護者の方なんですけど、票がすべて1票でわれてまして、保護者の意向を反映するとしたら、どれにするかというのは先ほど言われたような、どれか、これはビビッと来るようなものを選ぶっていうプロセスになると思います。他にもいろいろ票数が少ないものの、いろいろ皆さん各自見ていただいて、これはってのがあったかと思うんで、そういうのもうまく盛り込めればなど。ちょっと時間かかるかもしれませんが、よろしくお願いします。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。例えばですけども、票数の多いものとかで、例えば全体で票数が7票までのところだと、たまたま7件になるかなと思いますので、中途半端なので10件っていうような形にして、残り3件を、少ないところからビビッときたものとかっていう形で追加して、10件でアンケートをするというところも1つの案かと思うんですけども、この方向でいくのはどうですか。皆さんは一応頷いてるような形なので、残り3件をちょっと、ビビッときたものをチョイスできればなどと思うんですけども、案を見ていただいて、これとかっていうものがあれば、意見いただければと思いますけども。

副委員長：私これ見てて思ったんですけど、皆さん研究学園丸々っていう線であらうてるんだと思うんですね、上位の人たちね。なので研究学園丸々ではないものを選ぶ方がいいんじゃないかなと思います。どうでしょうかね。なかなか、いきなり選ぶのも難しいと思いますけども。

委員：私からいいなと思ったものを。ありがとうございます。私はやっぱりこう、名前を聞いて、場所がイメージできる学校がいいなあって思ったので、そういう意味では、逆に研究学園っていうのを含みたいな、使いたいなと思って、かつ、ニックネームがつけやすい、そこで、つくば研究学園というのは意外にいいなと思ったんですね。つく中つく小って呼ばれたら何かかわいいなと思って。皆の中にも、つくチャレとか、つくスタっていう、なじみのある言葉があるので、そういう意味でもニックネームをコストコ小と呼ばれないような、ニックネームをすぐ覚えてもらえるような学校にしたいなと思い、つくばとか研究学園とかを使えたらいいなと。私は、これを推してみたいと思いました

委員長：はい。ありがとうございました。つくば研究学園が2票ですね。お願いします。

副委員長：私も同じで、やっぱりこちらの上位の方に、みらいとかもみじがありますが、やっぱり場所がわかったほうがいいかなと思うので、つくば、研究学園がついてるものがあるかなと思います。以上です。

委員長：ありがとうございました。そうですね。今のお話で、つくば研究学園を入れて8つなので、あと2票ぐらい入れたいなというところですけども、何かあればと思いますが。なければ、6、5票あたりから、2つ選ぶところですかね。どうでしょうか、何か意見あればと思います。はい、お願いします。

委員：私は、1票なんですけど、小中一貫研究学園というのは、学校のあり方が非常に明確にわかりやすく、個人的にいいなと思いました。義務教育学

校は今後作らないという市の方針があつて、施設が別で敷地は一緒なんです
が、そういう学校の建て方が今後なされると思うんですが、そういう中
でも、小中一貫という方針は変わらないと聞いてますので、その部分は、
皆さんも校名に入れば心配せずに、お子様を預けられるのかなと思い
ました。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。別紙５－１の３ページにある小中一貫
研究学園ですかね。

副委員長：すいません。どこですか。

委員：私の方で見たのは別紙５－２ですかね。新規開校２校は併設型だと伺っ
たので、小中学校の児童生徒が互いに交流を深め、学校での生活をよりよ
いものにして欲しいという願い云々ですね。

副委員長：なんか履歴書を書くときちょっとかわいそうかなっていう。

委員：あくまで個人的な印象なんで、あくまで参考までにお願いします。

委員長：はい。ありがとうございました。案としては、はい、あると思います
けどもこの辺、どうなんですかね。事務局とか学校側は、実際の運営、実
際のなんていうんですかね、義務教育学校ではないので、その辺でちょっ
と例外があるとか、運営の事務局側としての課題とかがあればと思います
が、その辺いかがですか。特にないのであれば、委員からお話があった小
中一貫研究学園を９件目にさせていただいて、あと最後の１つをどなたか
から意見があれば、それで１０件になるんですけども。はい。お願いします。

委員：はい。この後、５票入っているものなんですけど、研究の森っていうの
が５票入ってて、学園の森に対抗して、研究の森もいいかなと今思ったと
ころです。

委員長：はい。ありがとうございました。一応今の、今までの意見で１０件です
か。今、名前は挙げていただいて、ちょっと簡単に、私の方から改めて述
べさせてもらおうと、上位から研究学園、学園南、研究学園みらい、研究学

園南、つくば中央、みらい、もみじ、研究の森、つくば研究学園、小中一貫研究学園が 10 件上がったかと思いますが、どうでしょうかね。これでアンケートをかけるっていうことに対して皆様いかがでしょうか。はい。お願いします。

委員：はい。10 件でいいと思うんですけど、この 3 番の研究学園みらい中学校のみらいは漢字ですか、ひらがなですか。多分両方の案があったんじゃないかなと思うんですけど。

事務局：研究学園みらいについては、10 件のうち 9 件がひらがなで、1 件が漢字を使用されておりました。

委員：そうしたら、9 件の多いひらがなのみらいを出しますか。

委員長：そうですね。ひらがなで聞く感じですかね。はい。これは、OK ってことですか。発言していただければ。お願いします。

副委員長：賛成です。漢字より、みらいとひらがなの方が、親しみやすいかなと思います。以上です。

委員長：はい。お願いします。

委員：確認ですが、小中学校を統一か、それとも違う名前かの検討はこれからですかね。

委員長：はい。そうですね。とりあえず 10 件に絞った後、今のお話できればなと思いますけども、とりあえず 10 件はよろしいですか、そしたら皆さん、OK というような形で決定させていただければと思います。事務局の方々、10 件で大丈夫ですか。

事務局：大丈夫です。

委員長：ありがとうございます。次は、先ほど委員からもお話がありました、小学校、中学校の名前を一緒にするかどうかといったところも含めて少しお話しさせていただければと思いますけども、アンケートの聞き方としてはもう、今の 10 件に対して、小学校の方でこの 10 件のうちどれを選んで

もらうのか、中学校のどれを選んでもらうのかっていう聞き方ですとか、もう1つのこととして、その前にワンクッション質問を設けて、同じにした方がいいですか、違う方がいいですかって聞くやり方とか、いろいろ方法はあると思うんですが、その辺どういうふうに聞いたら回答しやすかったりですか、進め方としてより良いかなというところがあると思うんですが、その辺いかがでしょうか。先ほど質問あれば、今のところでもお願いできればと思いますけども、どうでしょうか。

委員：質問というか個人的な意見になるんですが、この公募結果の数値を見ても、また、前回の会議で、学校の一体感、小中一貫の一体感を出すためにも、学校名については小中同じ方がいいというご意見もありましたので、この数値と現場の先生のご意見も踏まえて、個人的にはその学校については統一で進めるのはどうかと思いました。以上です。

委員長：はい。ありがとうございます。他は皆様いかがでしょうか。委員からお願いします。

委員：私も何か逆に違うと違和感を感じるので、小学校中学校は同じという意見です。以上です。

委員長：はい、ありがとうございます。お願いします。

副委員長：私も同じ認識です。

委員：同じというのは、研究学園小学校と研究学園中学校っていうことですね。

委員長：そういう認識だと思いますけど、事務局さん、そういう認識でよかったですね。

事務局：同じ、統一というのは、研究学園とつけた場合は研究学園小学校、研究学園中学校を想定しています。

委員：ありがとうございます。

委員長：他はいかがでしょう。先生とか学校側から、どうでしょうか。

委員：はい。学校としては、本音はですね、やはり、同じ名前の方が運営しやすいのですが、できる小学校、中学校は、同じ敷地ですけども、校長は別々にいるんですよね。もちろん職員も別々ということになりますので、ここでもう統一と決めちゃうのはどうかなと思うんです。ですので、やっぱりアンケートは、この10個の中から、小学校で1つ、中学校で1つずつ選んでもらうのがいいかなと思います。はい。

委員長：ありがとうございます。お願いします。

副委員長：はい。質問ですが、学校ができた場合、正門は小学校、中学校で1つになりますか。入口に小学校、中学校の名前がつけられると思いますが、正門は1つですか。

委員長：事務局の方から施設図とか前に見せてもらったりしますけど。

副委員長：学校名が小学校と中学校とで変わった場合、その書き方というか、見やすい、わかりやすくなるんでしょうかね。

事務局：教育施設課です。正門はですね、敷地の北東側に1か所で想定しています。正門以外に、管理用の出入口が、同じく東側の中央部分、それからTX側ですね。校章が設置される場所はその正門1か所の正門だけになります。今の想定ですけれども、例えば、研究学園であれば研究学園小学校、研究学園中学校を併記するような形で、今のところ想定しています。ただ、ある程度臨機応変に対応もできるんじゃないかなと。そこは今、工事をやっていたらいるゼネコンさん等ともある程度、協議はできるかなとは思っています。

委員長：はい。ありがとうございます。皆様何か意見ありますでしょうか。はい。お願いします。

委員：先生にお伺いしたいんですが、先生のご発言の趣旨は、皆さんに最初から1つに提示するんじゃなくて、アンケートの結果、1つになるっていうプロセスを得たいという認識でよろしいでしょうか。

委員：はい。そうです。一応、校名案の公募でも小学校、中学校ととっているし、どうなのでしょう。この場で、統一と決めちゃって問題ないのであれば、それでも構わないんですけど。一応、両方聞くのが筋かなと思った次第です。

委員長：はい。ありがとうございます。他に皆様から何かありますか。そうですね、一応今までのお話を聞いていくと、ちょっとこの場でなかなか同じにするかどうかというのを決めるのは、ちょっとどうかなという部分があるので、例えばアンケートの中で、問1のところで、小学校、中学校の名前を同じにした方がいいですか、もしくは別々がいいですかみたいな、選択で選んでもらうような設問を問1でして、問2で小学校の名前を10個の中から選んでもらう。問3で、中学校の名前は10個のなかから選んでもらうってというような聞き方すれば、皆様の意見を反映させたアンケートの設計、設問設定になるかと思いますが、そういうやり方はどうでしょうか。

委員：今、委員長に提案いただいた方向で、基本的にいいと思うんですけども、小学校と中学校の校名は一緒がいいですか、それともバラバラがいいですかというのを聞いて、そこから分岐になって、一緒でいいですっていう人は1つ選んでください、バラバラがいいですかという人はそれぞれに選んでくださいっていう、細かいアルゴリズムを書くとそういうふうになるのかなというふうに思いました。以上です。

委員長：問1で同じだった方は問2で選んでくださいで、別々だったら問3に行ってもらって、小学校名選んでください、問4で中学校名選んでください。そんな形ですかね。設問とか、説明の数が増えて事務局の方の対応が大変になるかと思いますが、その辺事務局の方対応とかは可能ですか。

事務局：技術的には問題ありません。対応できます。

委員長：ありがとうございます。技術的にはできるというふうなお話だったん

ですけども。他何か意見なければその方向だと思いますけども、いかがでしょうか。

事務局：委員長、申し訳ありません。事務局です。よろしいでしょうか。

委員長：はい。お願いします。

事務局：申し訳ございません。少し話を戻してしまうのですが、選択肢の中で、小中一貫研究学園というのをお選びいただいたと思いますが、事務局の職員の方から、小中一貫教育に関しましては、市内のすべての学校で取り組んでいるところでございまして、ここだけ学校名で特出してその小中一貫という言葉を出すことは、他の学校の取り組みというのを否定するとまでは申し上げませんが、全体でやってるところで、ここだけにこの表示をするというのは、どうかなというふうな話がありましたので、その辺りいかがでしょうか。

委員長：はい。ご意見ありがとうございます。そういう事情があるなら、仕方がないなあというふうには思っておりますけども。大丈夫ですか。

委員：はい、問題ありません。ありがとうございます。

委員長：はい。ありがとうございます。それでは、それを減らすとなると1つ空きが出てしまうので、他何か改めてあればと思いますけども、どうでしょうか。

委員：よろしいですか。そうしましたら私の方から、新入学児童保護者の方に1票であった星咲雪ノ下という、これ市の花なんですけど、こちらを推させてもらってもよろしいでしょうか。資料2の別紙3です。

委員長：はい。ありがとうございます。なるほど。私も全然知らなかったですけども、なかなか深いといえますか、興味深い内容ですね。他の皆さんはどうでしょうか。特によければ、これを先程の案に代えて10件としたいと思いますが、皆様よろしいでしょうか。事務局の方も。

事務局：先程の当方のご意見をご提案取り入れていただきありがとうございます。

す。10 件で大丈夫でございます。

委員長：ありがとうございます。委員の皆様も、これで大丈夫でしょうか。10 件とあとアンケートの聞き方がちょっと手間ですけども、先ほどのような形で決定という形にさせていただければと思いますが。何か事務局の方々から、気になる点とか質問あればと思いますけども、どうでしょうか。

事務局：絞り込んでいただいたものについて特段こちらの方から意見はありません。回答対象、回答期間、回答方法はいかがでしょうか。

委員長：ありがとうございます。一応回答の対象と期間は、先ほどお話して皆様 OK っていうような形だったかというふうに思っておりますけども、皆様ここで改めてご意見があればと思いますけどもいかがでしょうか。よろしいですかね。回答の対象は、ご提案いただいた通り、公募と同じやり方で、期間に関しましても、またアンケートの手法ですかね、紙じゃなくて、メールとかですかね。この辺もご提案いただいた形で進めていただければと思いますので、一応そんな形で決定ということでよろしいですかね。特になさそうなので、それでと思いますけども。

委員：ちょっと巻き戻して申し訳ないんですけど、コロナ禍という状況でいくと、この金土日月火の 5 日間か、いや、足りるのかなっていうところが、ちょっと気になっていまして。これってもうかなり投票来るよ来るよっていうのを言われてて準備できてる、例えば私たちだったら全然問題ない期間だと思うんですけど、次の委員会 2 月 15 日でセッティングされてますけど、1 週間取ることっていうのはできないのかなっていう。もう次は集計するだけだと思うんで、そこら辺どうなのかなっていう、事務局の方にちょっと相談です。はい。以上です。

委員長：はい。事務局の皆様、どうでしょうか。

事務局：今のお話ですと、1 週間程度、回答期間を確保して、4 日スタートだとすると 11 日が祝日になるので、10 日木曜日頃までを回答期間として設

定し、その翌週に、次の委員会を設定するという形でよろしいでしょうか。

委員：はい、無理を言っているのは承知なんですけれども、公募期間と同じだけの期間を取っているというのは、1つの期間設定なのかなというふうに思っています。以上です。

委員長：はい。ありがとうございました。なかなか後ろの工程がずらせない中で、事務局の皆様に頑張ってもらえるような形で恐縮ですけども、10日までという形で2日間、資料の案から延ばさせていただく形で、集計がタイトになってしまうと思いますけども、それで進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。あと、ちょっと細かいところで、例えばアンケートを聞くところの文面ですとか、お手紙、文章の聞き方とか、その辺について、この文章でいいのかどうかとか、その辺いかがでしょう。例えばですね、アンケートを初めて見る方とかも当然いらっしゃると思いますので、そういう方にわかりやすいようにするかっていうところもあると思いますので、ちょっと意見いただければと思いますけども。お願いします。

副委員長：3点ほどあります。1つ目が、資料の3なんですけど、アンケートは強制ではありませんって書く必要ありますか。アンケートなのでそもそも強制じゃないので、強制じゃありませんって書くことに強制感を感じてしまいます。それと、ホームページの件が資料5に出てると思うんですけど、資料のタイトルはアンケートを実施しますっていうタイトルなんですけど、経緯についてが先に出てしまうと、経緯を読んでから投票して欲しいという気持ちはわかるんですけど、アンケートをしようという話なのに、違う話を先に聞かされると、読みにくいんじゃないかなっていう気がします。これが何か市のお作法的にこういうものだというのであれば、そここだわるところではないのでいいんですけど。3つ目が資料の6で、応募という言葉が何か所も出てくるんですけど、他の資料では全部回答な

ので、統一したほうがわかりやすいかなっていう気がします。以上です。

委員長：はい。ありがとうございました。事務局の皆様、文章等々は少し修正いただければと思いますけども、今のご質問に対していかがでしょうか。

事務局：事務局です。ご指摘ありがとうございます。資料3のところの強制的文章のところは削除させていただきます。あと資料5のホームページにつきましても、特に市の作法等はございませんので、わかりやすい構成にさせていただきたいと思います。また、資料6は、回答に全て改めさせていただきます。

副委員長：ありがとうございます。

委員長：他の皆様、何かありますでしょうか。お願いします。

委員：アンケート項目について、どのように進められるかなっていうところなんですけども。10項目に関して、それぞれの由来、意味、私は書かない方がいいんじゃないかなと思っていて、10項目だけ並べて。ただ、さっき一番最後に決まった星咲雪ノ下だと確かに補足がないと、皆さんわからない部分もあるかなと思うんですけども。これ、由来について、全部書ききれないのが実態だと思って、私は、由来を書かずに10項目並べた方が、いいかなとは思っています。

委員長：はい。ありがとうございます。そうですね。あまり、先入観とか持つてしまう部分があるので、おっしゃるとおりかと思しますので、単純に、アンケートの答える部分に関しては、今おっしゃったとおりに回答してもらうような作り方がいいのかなと思います。例えば、資料3等で、但し書きをするのであれば、公募した結果を踏まえて委員会で絞り込んだ結果、アンケートしますというように、簡単に触れてもいいのかなというところがありますので、説明の使い分けをしていただいて、作っていただければと思いますけども、どうでしょうか。皆様そんな形でよさそうなので、事務局の方々、各種資料について、もう少し丁寧な書き方ですとか、あと

統一感ってというような視点で、少し文章を構成いただければと思いますので、その対応だけお願いできればと思います。

事務局：いただいたご意見を踏まえて、資料の方リバイスをさせていただきます。

委員長：校名アンケートにつきましては、概ね議論して、方向性も固まったかなと思いますが、改めて最後に何か言っておきたいことあれば、委員の皆様からいかがでしょうか。よろしいですかね。事務局の皆さん、校名のアンケートはこちらで一通り方向性決まったかなと思いますけども、他、不足とかありますでしょうか。

事務局：不足はございません。ありがとうございます。

委員長：はい。議事の2番はこれで終了とさせていただいて、最後に議題の校章案の公募につきまして、事務局の方から簡単にご説明いただいてよろしいでしょうか。

事務局：はい。事務局です。校章案の公募について、現時点で事務局が検討している内容をご説明させていただきたいと思います。実際の校章案の公募については、次回の委員会の中で具体的に協議いただく内容ではあるんですけれども、現時点で事務局の案、考えをお示しして、この時点で皆様からご意見を賜ればと思っております。それで、現時点で事務局として検討している案なんですけれども、応募対象については、校名案の公募と同様に、現在学園の森に通ってる児童生徒と保護者、あと4月に入学される児童と保護者、それ以外のつくば市在住の方というところを、一応想定しております。応募期間については、資料1のとおり、2月の18日金曜日からと設定しているんですけれども、期間については、18日からスタートというところで進めていきたいと考えております。なお、もし2月18日からスタートとなった場合ですけれども、まず、児童生徒、保護者を対象とした場合はですね、応募期間の初日にですね、スクリレや緊急メール、学校のホ

ームページ等々を使って周知をして、募集を開始させていただきたいと思っています。また、対象を令和4年度の新入学児童と一般市民まで含めた場合は、その通知方法のところは、要検討だと思っています。また、応募方法については、現在検討中です。まん延防止等重点措置というところもありますが、応募用紙で書いていただくところが自然なんだろうと思うんですね。やはり児童生徒さんは手書きで校章のデザインを描くと思いますので。ただ、応募用紙とする場合には、もし学校が休校の場合、どうやって用紙をお配りして回収をするのか検討しなければなりません。また、電子申請とした場合は、すべての皆さんが、手書きのものをプリンターでスキャンしてPDFに変えて申請といったところも、おそらく難しいと思うので、電子申請にするにしても、提出方法の工夫が必要だと事務局は考えております。今後、学校の休校期間の延長等も想定され、先行きが不透明なところですが、今申し上げた、事務局の校章案公募の想定案について、委員の皆様からのご意見を賜りたいと思います。次回の委員会の中で、そのご意見いただいた部分を反映した資料をこちらで用意をして、スムーズに議事が進行できるように努めたいと思いますので、この件について何かご意見等ございましたら、お寄せいただきたいと思います。

委員長：はい。ご説明ありがとうございました。コロナの中でかなり大変な中、いろいろ考えてくださりましてありがとうございます。委員の皆様何か、校章案の進め方についてご意見あればお願いできればと思います。はい、お願いします。

委員：先程、事務局から応募方法の具体的な部分について、PDF云々って話があったんですが、PDFはハードルが高いと私も思います。そこで例えば、お子さんたちが書いたものを写真に撮って、その写真を添付して送るとかそういう方法は、実際可能でしょうか。

事務局：はい。事務局です。例えば、スマートフォンなど撮影したものをjpg

形式などで電子申請のシステムに上げていただくことは技術的に可能です。

委員：はい。ありがとうございます。

委員長：ありがとうございます。他は皆様、ありますでしょうか。次の委員会で校名が1つになるか、別々になるかっていうようなことは決まってくると思うのですが、校章の方は、1つになった場合に1つで小学校、中学校も行くのか、それとも別々に考えてもらうのかとかっていうところも色々あると思いますので、ちょっと現時点で思いつくこととかあれば、せっかくですのでご意見いただければと思いますけどもいかがでしょうか。

委員：前は、市の方からもデザイン案を出していただいたかと思うんですが、今回はそういう用意、方向性はあるでしょうか。

委員長：はい。事務局いかがでしょうか。

事務局：まず、公募を行ってからですかね。保護者さんでデザインに精通していらっしゃって、デザイン制作にご協力いただける方がいらっしゃる可能性もありますので、市の方からデザインを出すというところは、公募が終わった後の話になるかなと思います。

委員：公募が終わった後であれば、市の方からデザインが出る可能性もあるぐらいの理解でよろしいです。

事務局：公募後すぐに案をお出しするというのは、おそらく難しいと思います。公募をやってみて、もし保護者の方でご協力いただける方がいらっしゃらない場合は、例えば、以前申し上げたように学校教職員の関係者ですとか、市の職員が候補になってくるかなと思います。

委員：わかりました。ありがとうございます。

委員長：皆様いかがでしょうか。特によろしいでしょうかね。基本的、細かい部分は、また次回のお話なんだろうけども、大きな進め方としては、事務局からご提案あったような形でということで、皆様からの一応了解はい

ただけたのかなってというようなイメージですので、それでよければ、この議事も終えたいと思いますけれども、皆様大丈夫でしょうか。よろしいですかね。はい。基本的な進め方は、事務局のご提案のあったスケジュールと進め方でいければと思っております。これで議事は、3つ終わったかと思しますので、事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いします。

3 その他

事務局：委員長ありがとうございます。最後に、次の委員会の日程ですが、校名案のアンケートを2月10日までとする関係で、次の委員会を、予備日として書かさせていただいてる2月の16日水曜日、もしくは17日木曜日をお願いしたいと思うんですけれども、いかがでしょうか。

委員長：はい。事務局の方々ありがとうございます。それでは、16日と17日のいずれか両日で、保護者側の委員と学校側の委員の皆様に私の方から別途、スケジュール調整の連絡をさせていただきますので、そこで皆様の都合がつく日にさせていただいて、それを事務局に後日回答するというような形でよろしかったでしょうか。

事務局：委員長、ありがとうございます。それでは、スケジュールの調整の方よろしくお願いします。

委員長：わかりました。委員の皆様、また後日、調整のやりとりさせていただければと思いますので、どうぞ回答の方よろしくお願いします。はい。また事務局へお返しいたします。

事務局：本日は長い時間ありがとうございます。以上をもちまして、第3回の準備委員会の方を閉会とさせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

4 閉会